



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月8日

上場会社名 兼房株式会社 上場取引所 東 名  
コード番号 5984 URL <https://www.kanefusa.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 磯谷 岳摩  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 佐築 賢治 TEL 0587-95-2821  
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	15,401	△7.1	813	△46.0	963	△39.8	595	△47.4
2023年3月期第3四半期	16,587	14.4	1,506	15.0	1,600	15.8	1,133	11.2

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,949百万円 (△37.4%) 2023年3月期第3四半期 3,112百万円 (92.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	42.88	—
2023年3月期第3四半期	81.53	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	35,054	28,959	82.6
2023年3月期	33,865	27,399	80.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 28,959百万円 2023年3月期 27,399百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	7.50	—	20.50	28.00
2024年3月期	—	7.50	—		
2024年3月期（予想）				7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	△5.3	900	△37.5	850	△48.9	500	△60.8	35.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	14,310,000株	2023年3月期	14,310,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	409,962株	2023年3月期	409,812株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	13,900,149株	2023年3月期3Q	13,900,268株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、不安定な世界情勢の中でも米国は堅調な景気を維持し、金融の引き締めが長期化している一方で、欧州ではエネルギー供給への懸念や長引く物価高などにより景気は足踏みしております。わが国経済は、価格転嫁の進展や所得環境の改善を背景に景況感が改善しておりますが、人手不足の深刻化への懸念などにより景気の先行きは不透明なものとなっております。

当社グループは生産性の維持・向上、顧客への訪問やオンライン会議を活用し、国内住宅関連市場の占有率拡大や非住宅関連市場の開拓などを目指し、戦略的な製品開発、生産、営業活動を展開いたしましたが、受注が低迷している影響などにより、前年同期を下回る結果となりました。国内における売上は、住宅関連刃物、非住宅関連刃物ともに前年同期から減少しました。また、海外での売上は、米国では増加しましたがアジアを中心に減少し、当第3四半期連結累計期間の売上高は154億1百万円（前年同期比7.1%減）となりました。

利益面につきましては、中国およびベトナムでの売上原価率が上昇したことなどから、営業利益は8億1千3百万円（前年同期比46.0%減）となりました。営業外収益として為替差益を1億6千万円計上したことなどから、経常利益は9億6千3百万円（前年同期比39.8%減）となりました。また、特別利益として投資有価証券売却益を2千3百万円計上したことなどから、税金等調整前四半期純利益は9億8千6百万円（前年同期比45.7%減）となり、その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億9千5百万円（前年同期比47.4%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① 日本

国内向けでは、住宅関連刃物、非住宅関連刃物ともに減少し、海外向けでは自動車関連刃物および木工関連刃物が減少したことから、売上高は113億4千1百万円（前年同期比13.2%減）、営業利益は3億5千7百万円（前年同期比65.5%減）となりました。

#### ② インドネシア

木工関連刃物および製紙関連刃物が減少したことから、売上高は28億7千8百万円（前年同期比17.9%減）、営業利益は1億3千5百万円（前年同期比63.7%減）となりました。

#### ③ 米国

自動車関連刃物および鋼管関連刃物が増加したことから、売上高は18億6千3百万円（前年同期比23.0%増）、営業利益は1億5千8百万円（前年同期比50.1%増）となりました。

#### ④ 欧州

鋼管関連刃物などが減少したことから、売上高は17億4千3百万円（前年同期比8.1%減）、展示会への出展費用がかさんだことから営業損失は1百万円（前年同期は1億3千4百万円の営業利益）となりました。

#### ⑤ 中国

中国国内における経営環境の悪化により、売上高は12億6千6百万円（前年同期比18.2%減）、営業損失は1億8千7百万円（前年同期は5千7百万円の営業損失）となりました。

#### ⑥ ブラジル

現地通貨建て売上では減少したものの円換算では増加となり、売上高は5億6千8百万円（前年同期比7.4%増）、営業利益は7千7百万円（前年同期比14.8%減）となりました。

#### ⑦ ベトナム

木工関連刃物および鋼管関連刃物などが減少したことから、売上高は6億9千万円（前年同期比9.7%減）、営業損失は3千万円（前年同期は7千8百万円の営業利益）となりました。

なお、セグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて記載しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期末における流動資産は183億5千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億3千4百万円減少いたしました。これは主に原材料及び貯蔵品が8億4千万円増加したものの、現金及び預金が16億7千7百万円減少したことなどによるものであります。固定資産は166億9千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億2千3百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が14億5千万円増加したことなどによるものであります。

この結果、総資産は350億5千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億8千9百万円増加いたしました。

## (負債)

当第3四半期末における流動負債は40億9千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億2千万円減少いたしました。これは主に賞与引当金が2億3千8百万円減少し、未払法人税等が2億1千4百万円減少したことなどによるものであります。固定負債は20億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億4千9百万円増加いたしました。これは主に固定負債その他が1億3千1百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は60億9千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億7千1百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第3四半期末における純資産合計は289億5千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億6千万円増加いたしました。これは主に為替換算調整勘定が13億2千3百万円増加し、利益剰余金が2億6百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、自己資本比率は82.6%（前連結会計年度末は80.9%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2023年8月9日「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績等は様々な要因により予想値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,835,700	5,158,041
受取手形及び売掛金	3,736,414	3,610,304
電子記録債権	913,631	943,591
商品及び製品	3,084,119	3,320,526
仕掛品	1,159,194	1,321,845
原材料及び貯蔵品	2,446,221	3,287,179
その他	649,690	739,895
貸倒引当金	△31,731	△22,406
流動資産合計	18,793,241	18,358,977
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,666,482	5,337,170
機械装置及び運搬具（純額）	4,778,910	5,191,813
その他（純額）	3,956,710	4,323,817
有形固定資産合計	13,402,103	14,852,801
無形固定資産	861,124	929,355
投資その他の資産	809,004	913,390
固定資産合計	15,072,232	16,695,546
資産合計	33,865,473	35,054,523

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,552,330	1,525,676
電子記録債務	360,689	328,358
1年内返済予定の長期借入金	89,037	189,144
未払法人税等	244,237	29,465
賞与引当金	405,837	167,466
その他	1,960,880	1,852,615
流動負債合計	4,613,013	4,092,726
固定負債		
長期借入金	1,246,262	1,229,155
退職給付に係る負債	132,061	167,103
その他	475,019	606,123
固定負債合計	1,853,343	2,002,382
負債合計	6,466,356	6,095,108
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,142,500	2,142,500
資本剰余金	2,167,890	2,167,890
利益剰余金	21,534,681	21,741,476
自己株式	△208,831	△208,939
株主資本合計	25,636,239	25,842,926
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	183,413	213,251
為替換算調整勘定	1,590,364	2,914,217
退職給付に係る調整累計額	△10,901	△10,980
その他の包括利益累計額合計	1,762,876	3,116,488
純資産合計	27,399,116	28,959,415
負債純資産合計	33,865,473	35,054,523

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	16,587,143	15,401,856
売上原価	11,197,785	10,825,638
売上総利益	5,389,357	4,576,218
販売費及び一般管理費	3,883,044	3,762,986
営業利益	1,506,313	813,231
営業外収益		
受取利息	12,282	23,353
受取配当金	16,010	9,468
デリバティブ評価益	8,609	612
為替差益	42,532	160,118
助成金収入	1,589	—
その他	40,111	22,120
営業外収益合計	121,135	215,674
営業外費用		
支払利息	25,510	64,482
その他	1,612	1,093
営業外費用合計	27,123	65,575
経常利益	1,600,325	963,330
特別利益		
固定資産売却益	218,300	1,416
投資有価証券売却益	1,610	23,641
特別利益合計	219,910	25,057
特別損失		
固定資産売却損	263	—
固定資産除却損	3,842	1,658
特別損失合計	4,105	1,658
税金等調整前四半期純利益	1,816,130	986,729
法人税等	682,843	390,729
四半期純利益	1,133,287	595,999
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,133,287	595,999



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,133,287	595,999
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△60,619	29,837
為替換算調整勘定	2,035,131	1,323,852
退職給付に係る調整額	4,851	△78
その他の包括利益合計	1,979,364	1,353,611
四半期包括利益	3,112,651	1,949,610
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,112,651	1,949,610
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(退職給付債務の計算方法の変更)

国際財務報告基準(IFRS)を適用している連結子会社P.T.カネフサインドネシアでは、従来より退職給付の勤務期間への帰属についてIAS第19号を適用し、従業員の勤務期間に応じて退職給付債務を認識する会計処理を行っていましたが、2021年5月のIFRS解釈指針委員会アジェンダ決定「給付の勤務期間への帰属(IAS第19号)」及び2022年4月にインドネシアの会計基準設定主体(DSAK-IAI)が発行した「給付金を勤務期間に帰属させることに関するプレスリリース(PSAK 24プレスリリース)」を踏まえて、前連結会計年度より、退職給付を帰属させる勤務期間を見直し、退職給付を支給する義務が発生する期間に退職給付債務を認識する方法に変更しております。当該会計方針の変更は遡及適用され、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比較して、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書においては、営業利益は7,251千円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は14,706千円、それぞれ増加しております。

また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は64,246千円、為替換算調整勘定は5,116千円、それぞれ増加し、退職給付に係る調整累計額は5,766千円減少しております。

## (セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント							
	日本	インド ネシア	米国	欧州	中国	ブラジル	ベトナム	計
売上高								
平刃類	3,153,653	2,337,105	277,242	554,721	464,044	135,352	41,818	6,963,938
精密刃具類	2,853,192	169,478	81,633	30,552	35,567	—	21,939	3,192,365
丸鋸類	6,275,980	891,748	1,126,736	1,309,969	1,038,843	384,798	699,298	11,727,375
商品他	788,074	108,429	30,235	2,673	10,824	9,538	934	950,709
顧客との契約 から生じる収 益	13,070,901	3,506,761	1,515,847	1,897,917	1,549,280	529,689	763,991	22,834,389
外部顧客への 売上高	8,989,549	2,088,975	1,515,425	1,897,917	714,647	529,259	194,573	15,930,348
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,081,351	1,417,785	421	—	834,633	430	569,417	6,904,041
計	13,070,901	3,506,761	1,515,847	1,897,917	1,549,280	529,689	763,991	22,834,389
セグメント利益 又は損失(△)	1,036,405	373,227	105,522	134,175	△57,633	91,138	78,056	1,760,890

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
平刃類	22,210	6,986,149	△1,586,210	5,399,939
精密刃具類	32,450	3,224,815	△228,371	2,996,443
丸鋸類	588,778	12,316,153	△4,386,349	7,929,804
商品他	13,491	964,201	△703,244	260,956
顧客との契約 から生じる収 益	656,930	23,491,319	△6,904,176	16,587,143
外部顧客への 売上高	656,795	16,587,143	—	16,587,143
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	135	6,904,176	△6,904,176	—
計	656,930	23,491,319	△6,904,176	16,587,143
セグメント利益 又は損失(△)	24,242	1,785,133	△278,819	1,506,313

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド及びメキシコの現地法人の事業活動等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△278,819千円には、セグメント間取引消去42,571千円、棚卸資産の調整額△303,886千円、その他△17,503千円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント							
	日本	インド ネシア	米国	欧州	中国	ブラジル	ベトナム	計
売上高								
平刃類	2,953,613	1,836,752	311,418	581,353	510,878	121,708	17,272	6,332,998
精密刃具類	2,893,638	149,965	175,101	56,819	20,123	205	29,752	3,325,607
丸鋸類	4,985,178	814,356	1,346,090	1,101,450	712,332	436,958	642,327	10,038,694
商品他	508,722	77,911	31,209	3,748	23,207	10,105	815	655,719
顧客との契約 から生じる収益	11,341,153	2,878,985	1,863,820	1,743,372	1,266,541	568,978	690,167	20,353,019
外部顧客への 売上高	7,917,769	1,713,577	1,863,697	1,742,457	586,491	568,978	131,180	14,524,151
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,423,384	1,165,408	123	915	680,049	—	558,986	5,828,867
計	11,341,153	2,878,985	1,863,820	1,743,372	1,266,541	568,978	690,167	20,353,019
セグメント利益 又は損失(△)	357,173	135,466	158,423	△1,038	△187,711	77,662	△30,147	509,828

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
平刃類	48,594	6,381,592	△1,430,204	4,951,388
精密刃具類	45,763	3,371,371	△280,644	3,090,726
丸鋸類	766,255	10,804,949	△3,663,848	7,141,100
商品他	17,282	673,002	△454,361	218,640
顧客との契約 から生じる収益	877,896	21,230,915	△5,829,059	15,401,856
外部顧客への 売上高	877,704	15,401,856	—	15,401,856
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	191	5,829,059	△5,829,059	—
計	877,896	21,230,915	△5,829,059	15,401,856
セグメント利益 又は損失(△)	34,998	544,827	268,404	813,231

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド及びメキシコの現地法人の事業活動等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額268,404千円には、セグメント間取引消去67,147千円、棚卸資産の調整額211,427千円、その他△10,170千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

1. 第1四半期連結会計期間より、「その他」に含まれていた「ブラジル」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分により作成したものを記載しております。
2. (会計方針の変更) に記載のとおり、退職給付債務の計算方法を変更しております。これに伴い、前第3四半期連結累計期間については、当該会計方針の変更を遡及適用した後のセグメント情報となっております。当該変更により、従来の方法に比べて、前第3四半期連結累計期間のインドネシアセグメントのセグメント利益は7,478千円増加し、セグメント利益又は損失の調整額は227千円減少しております。